



大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関するアイデア募集

《REBORN コンテンツ発掘 PROJECT》

OSAKA REBORN 賞受賞

『XF ライブエンタテインメントで表現する大阪の過去と未来』

松竹株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 迫本 淳一）は、2021 年 3 月 24 日（水）、大阪府・大阪市が主催する大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関するアイデア募集「REBORN コンテンツ発掘 PROJECT」にて、「OSAKA REBORN 賞」を受賞しました。

弊社は 1895 年に京都で創業して以降、関西を発祥の地とし上方文化の継承・発展と共に歩み、多様なエンタテインメント体験が生まれる今日、心身ともに健康で満たされた社会の形成や未来の文化に貢献したいという想いを込め、本募集への提案に至りました。提案テーマである『XF（クロスフェーディング）ライブエンタテインメントで表現する大阪の過去と未来』は、歴史と魅力溢れる上方文化を、弊社が実証実験中の“メタヴァース技術（仮想空間上のミラーワールド）”や、“エンタメに特化したデバイスに依存しないソフトウェア”といった最先端技術を駆使することで、街や家などの現実世界そのものをライブエンタテインメント化させる、時間や場所に捉われない「バリアフリーな未来の文化体験」を構想したものです。

本提案により、あらゆる人々が文化を享受できる環境づくりと、豊かな文化力を活用した都市魅力の向上を図るとともに、「文化自由都市、大阪」の実現にも貢献できるものと考えております。

今後も時代や文化の最先端を意識しつつ、日本文化の伝統を継承発展させ、世界文化に貢献し、時代のニーズを捉え、あらゆる世代に豊かで多様なコンテンツをお届けすることをミッションとして取り組んでまいります。

【REBORN コンテンツ発掘 PROJECT】（大阪府 HP より引用）

大阪府・大阪市においては、2025 年大阪・関西万博の開催都市にふさわしいパビリオン等出展参加のあり方について検討を進めており、今般「2025 年大阪・関西万博 出展参加基本構想（案）」を取りまとめました。この構想（案）では、訪れた人々が「いのち」や「健康」、近未来の暮らしを感じられる展示を実現するとともに、大阪の活力・魅力を世界のより多くの人々に伝えていくとしています。また、出展参加のメインテーマは REBORN。“人は生まれ変われる”、“新たな一步を踏み出す”との意味を込め、来場者が体験や共創を通じて、深く心に記憶されることを目指した、展示・催事を実現するとしています。今後、この構想を具現化し、大阪のパビリオン等における展示・催事の具体的なコンテンツの検討に資することを目的に、2025 年に実現したい具体的なコンテンツについて、提案を募集しました。

※本受賞は今後のパビリオンにおける構想の具現化を確約するものではありません。

【弊社提案に対する評価コメント】

伝統芸能と大阪独自の文化を題材に、最新技術を活用することでライブエンターテインメントを創造するという非常に大阪らしい提案であり、新しい文化の形成に寄与することが期待される。

【審査員】

西澤 良記（公立大学法人大阪 理事長）

橋爪 紳也（大阪府立大学 研究推進機構特別教授／観光産業戦略研究所長）

東 博暢（株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル）



Xに込められた意味。

仮想空間と現実空間の境界線がなくなる
未知の世界。現実でありながら仮想空間
のように、インタラクティブに、仮想の
コンテンツでありながら、現実で起きて
いるかのようにリアルに、空間と空間が
クロスフェードした、場所や、時間に、
捉われない新体験。

XF ライブエンタテインメント (XFE) とは

松竹が提唱する 2025 年に向けた最先端のライブエンタテインメントの形

①XF(クロスフェーディング)

「観客」と「舞台」の境界線が曖昧になり、**個人が劇空間の一部となれる全く新しい、
これから始まる体験につながる。**

②バーチャルを越えた体験

時間や場所に捉われない、**インタラクティブなデジタルツインの体験。**
街や自宅など現実世界そのものが、エンタテインメント化する。

▼詳細は大阪府公式 HP の発表をご覧ください▼

<http://www.pref.osaka.lg.jp/bampakuyuchisuishin/banpakukettei/index.html>

【本件に関するお問い合わせ】

松竹株式会社 開発企画部

Tel : 03-5550-1359 Mail : sh_irpromotion@shochiku.co.jp